



文部科学大臣賞 富山県本戦 全日本健康麻将選手権

平成30年3月18日(日) 富山県射水市

ご 案 内



1. 交流力

青少年にコミュニケーション能力を

2. 精神力

社会人にメンタルの強化を

3. 脳活力

シニア世代に心身の健康を

麻将(マーじゃん)の語源は、1998年に井出洋介プロ(当会顧問)が競技としての普及を目指す象徴として麻将(北京語のマーじゃん表記)を使う活動を推奨しており当会も団体名に使用しています

[会 場] 富山県 射水市 第一イン新湊
[主 催] 全日本健康麻将協議会
[主 管] NPO法人 健康麻将越中ひばり会
[後 援] 文部科学省



富山県本戦

文部科学大臣賞

全日本健康 麻将選手権

主催 全日本健康麻将協議会
後援 文部科学省

全日本健康麻将選手権

この大会は生涯学習の観点からどなたでも参加出来る大会として毎年、全国で予選会を開催し、年に一度決勝戦を実施します

平成29年度 決勝戦 概要

開催地：富山県 射水市

日時：平成30年3月18日 10時から17時

会場：第一イン新湊

表彰：上位者他、副賞多数

申込：各都道府県の主管団体へ

全国で誰もが参加できる予選会が実施され、年に一度の決勝戦で優勝者を称える大臣賞が授与されることは、麻将にとってとても素晴らしいことです！今年度は、富山県での本戦ですので皆さんとお会いできることを楽しみにしていますので頑張ってください。



主催団体の情報

全日本健康麻将協議会 顧問 井出 洋介

主催：全日本健康麻将協議会 〒141-0031 東京都品川区西五反田2-4-2東海ビル2階 <http://8141.info>



ご案内

全日本健康将棋選手権
全日本健康将棋協議会
理事長 金澤喜重

昨年の「全日本健康将棋選手権」は全国から多くの選手および大会関係者をお迎えし開催できましたことは、誠に喜ばしく、全日本健康将棋協議会を代表いたしまして心より御礼申し上げます。

昨年はマージャンにおいて始めて文部科学大臣賞が授与され、その参加者及び関係者が目標とする大会に成長することが出来ました。今年度は文部科学省の後援も決定し役員一同、より一層の努力をする所存です。

昨年度の文部科学大臣賞の授与をお決め頂きました前文部科学大臣 馳 浩 衆議院議員には、このたび当団体の顧問をお引き受け頂き、より一層のご尽力を賜りながら今年度の富山県本戦を開催したいと存じますので、何卒奮ってご参加頂きますようご案内もうしあげます。



顧問就任のご挨拶



全日本健康麻将選手権
前文部科学大臣
衆議院議員 馳 浩

平成 29 年 4 月より、全日本健康麻将協議会の顧問を担当させていただくこととなりました。

私自身、健康麻将は高齢者交流の場として報道等で意義を認識しておりました。身近で詳細を知ったのは親交の深い方が石川県金沢市において市民活動として健康麻将を取り入れ、参加される方・お世話される方がそれぞれ生き生きと交流している現場を見てからです。

全日本健康麻将協議会とは、本協議会主催の全国大会において、文部科学大臣在職中に文部科学大臣賞の授与を決めさせて頂きましたことがきっかけでご縁が深まりました。市民団体のネットワークを目指すこの会は今後ますます必要性が増すと思ひ、この度、顧問としてご協力させていただくことになりました。

健康麻将は頭脳スポーツとして拡大しており生涯学習の観点から囲碁・将棋のように発展することを望んでいます。生涯学習は学校教育のみならず、地域・社会で行われている学習をも含んだ包括的な概念であり、生涯のいつでも自由に学習機会を選択し、その成果が適切に評価されるような社会の構築を目指しています。この概念に合致する健康麻将は、素晴らしいコミュニケーションツールと考えています。

全日本健康麻将協議会の役員ならびに関係者一同の一層のご努力に期待するとともに、私も精一杯協力して参りますので、皆様のご支援よろしくお願い申し上げます。



開催要項

文部科学大臣賞 富山県本戦 全日本健康麻将選手権

- 1 主催 全日本健康麻将協議会
- 2 主管 NPO法人 健康麻将越中ひばり会
- 3 後援 文部科学省
- 4 日時 平成30年3月18日 午前10時～午後5時
- 5 会場 第一イン新湊 〒934-0005 富山県射水市善光寺18-4
- 7 参加 30都道府県 120名
- 8 大会日程 3月18日(日) 4回戦 (55分/1回戦) 打ち掛け局終了まで
 - (1) 受付 9:30～10:00
 - (2) 開始式 10:00～
 - (3) 1回戦 10:30～11:30
 - (4) 2回戦 11:30～12:30
 - (5) 軽食 12:30～13:00
 - (6) 3回戦 13:00～14:00
 - (7) 4回戦 14:00～15:00
 - (8) 表彰式 15:00～16:00
- 9 競技内容
個人戦とする。
- 10 競技規則
全日本健康麻将協議会が定める、全日本健康麻将選手権競技規定とする。
- 11 申込資格
各都道府県の主管及び運営団体からの成績による推薦 4名を基本とする
- 12 申込
参加選手は日本海ツーリスト(旅行社)へのツアー申込とする
平成30年3月17日・18日の1泊2日(追加等は別途申込が必要)
- 13 参加費
ツアー代金 約18000円/お一人様 ※宿泊施設が複数なため若干の変更あり
※各参加者の富山までの交通費は別途必要となります
- 14 拠出金
主管団体より本戦出場者1名につき5千円の事業予算とする



全日本健康麻将選手権規則

1. 競技は東南戦4回戦で競技時間は55分とし、打ち掛け局終了まで行う。最終局の開始は山積み完了後、開門決定とする。また席は公平に全員が4回戦を東・南・西・北と1回ずつ座る
2. 喰いタンあり・後付けありのルールで持ち点は30,000点とし、順位点はない
3. ノーテンは場3千点。連チャン（聴牌連チャンあり）は一本場につき300点。親がノーテンなら親流れで、オーラスならゲーム終了（供託点は誰にも加えず供託欄に記入する）
4. 30符4翻又は60符3翻（役+ドラ）は子で8000点（親で12000点）にそれぞれ切り上げる
5. 喰い換えあり 二三四から上家の一を「チー」して四を捨てることのできる
※白をポンし白を捨てることもできる
6. 形式テンパイあり。（自分が待ち牌をすべて使っている時は無効）
7. 途中流局なし（九種倒牌・四風連打・四人リーチ）、及び流し満貫なし
8. アガリ者は常に一人。（同時あがりは頭ハネ）
9. アガリとチョンボの同時発生はアガリを認め、チョンボは免除される
10. 旧役及びグループルールなし（人和、カン振り、嶺上開花ツモでの責任払い、なし）
11. 役マンのパオ（責任払い）は大三元の3フーロ・大四喜の4フーロ目をポンあるいはカンさせた時とし、ツモはすべて・ロンは半分負担
12. 役マンの特例なし（アンカンのロンアガリ、国士無双13面目待ちのフリテン解消）
13. リーチに関して
 - ◇フリテンリーチはツモあがりのみ ◇リーチ後のツモ牌選択あり
 - ◇一発・裏ドラ・槓ドラ・槓裏ドラあり ◇ノーテンリーチは流局時にチョンボ
 - ◇リーチ後の暗槓はメンツ構成（待ち牌ではない）が変わらない場合のみ
 - 例）一一一三四四四で一もメンツ構成が変わるため槓はできない（一二三が無くなる）

罰則 ※但し罰則の運用は審判に従う

- ◆チョンボ 手牌を倒牌、及びゲーム続行不能にした場合は12000点を除外し終了時に供託・罰符欄に記入する。その局は再ゲームとしその局の供託点は戻し、場積みも増やさず親も移動しない
補足：①倒牌の判断、ゲーム続行不能の判断等、チョンボの裁定は審判に従う
- ◆アガリ放棄 誤発声はすべてアガリ放棄としそれ以降の発声行為は出来ず、流局時はノーテン扱いとする。但しポンロンは単なる誤発声で即倒牌の場合のみアガリを認める。
補足：①誤発声は他家打牌への「待つて」も含み行為が出来ない場合は和了放棄
②和了放棄後に発声行為をした場合はチョンボにせず行為を戻し続行する

●記録方法について

本大会は、記入ミス軽減のため持ち点をそのまま（+▲記録ではなく）記入する

1. 各自が持ち点を記入する（例：36,200）なお集計結果は+▲の表示となる（PC自動計算）
2. トップ者が合計120000点を確認した後で、点棒を30000点に戻す
3. トップ者が自ら記録票を集計席に持参する

※集計席で120000点より多い事が発覚した場合はトップから引き少ない場合はそのまま記録

●4回戦合計が同点時の順位について

合計点が同一の場合、以下の項目順に順位が決まる

1. 着順勝率（トップは3勝0敗、二着は2勝1敗、三着は1勝2敗、四着は0勝3敗、引分け有り）
着順勝率＝勝数／（勝数+敗数）
2. 最高得点順（最高得点が同点ならば次点の高得点で順次比較比較）

※1. 2. がすべて同一なら同順位となる

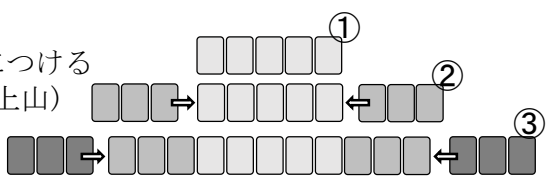


競技マナー

1. 対局の開始時（終了）は挨拶を交わしましょう
2. 山積みは牌を完全裏返して親を中心に混ぜ、全ての牌が裏返しの状態で親が積み始めたら子も積み始めましょう。
3. 牌山を全員が前に出し、井桁にしてからサイコロを振りましょう
サイコロは誰の山にも当てず中央に転がし、片付けは親が第一打後に右隅に置きましょう
親は第一打の前に1. 配牌完了、2. リンシャン牌、3. ドラの表示の移動を確認しましょう
4. 全ての行為は発声を優先し、発声ははっきりと他の3人に聞こえるようにしましょう
5. 言動や態度には細心の注意を払いましょう
 - ① ルールやマナーに関して対局中は正しい意見でも直接指摘せず、審判を呼びましょう
 - ② 手牌に関する発言は誤解を招きますので口にせず、局終了後の「解説」も慎みましょう
 - ③ 点棒の支払いは丁寧に、お釣りがあがる場合は「何点おつり」と声を掛けてあげましょう
 - ④ 立て膝、肘を卓につく、足組などは慎み姿勢良くゲームをしましょう
6. 喰い仕掛けの手順は1. 「発声」2. 「開示」を守り「取牌」「打牌」の順序は強要しません
7. 捨て牌は六枚切りにし、打牌は強打せず、呼称せずに捨てましょう
8. 常に手牌は立てておき、アガった人は理牌（見易く並べること）してから倒しましょう
9. 流局時にノーテンなら静かに手牌を伏せましょう。他家のアガリ時も静かに伏せましょう



手積み卓マナー

1. 洗牌前の準備（前局の終わり方）
 - ① アガリ者の点数申告を確認し、アガリ者以外は手牌を必ず伏せる
流局時はリーチ者、テンパイ者は点棒の授受後に、手牌を裏返す
 - ② 自分の前の牌山が残っている場合は上山を下ろす
 - ③ 自分の捨て牌を一度に1列6枚ずつを裏返してから洗牌する
2. 牌が表にならないための混ぜ方
 - ① 親が中心となり全員で表にならないよう心掛けて混ぜる
 - ② 混ぜ方は手の平を上に向け、横から押すように混ぜる
 - ③ 全ての牌が裏返しの状態で親が積み始めたら、子も積み始める
3. 牌山の積み方
 - ① 5枚の牌を手前に揃える
 - ② 右手と左手に3枚ずつ牌を掴み5枚の牌の両端につける
 - ③ もう一度②を繰り返し両端につけ17枚にする(上山)
 - ④ ①～③の動作をもう一度行い下山をつくる
 - ⑤ 下山を前に出し、上山をのせる
 - ⑥ 牌山を井桁にし（死角を無くす）、前に出す（対面が取りやすい）
4. 開門（カイメン）から親の第一打まで
 - ① 親は全員が前に出し井桁の状態で、サイコロを誰の山にも当てず中央に転がす
 - ② 開門場所は子は触らず、親が数え取り始める。なお親は第一打の前に1) 配牌完了、2) リンシャン牌の移動、3) ドラの表示を確認する
 - ③ サイコロの片付けは親が第一打後に右隅に置く